

工学研究科 博士後期課程 生産・建設工学専攻

(1)大講座

大講座名	内容	教育・研究分野	担当教員
機械工学	時代のニーズに応える高性能な機械を、省エネルギー、環境汚染低減を満たしながら創成するため、材料の高機能化や加工性の向上ならびに熱と流体に関する基礎および応用的研究が強く要請されている。この講座では、材料強度、加工プロセス、機能材料、マイクロ・ナノテクノロジー、燃焼、流れ、エネルギー変換などの研究と教育を行う。	材料機能工学	神崎 昌郎、田中 浩、松井 良介、松室 昭仁、小川登志男、武田 亘平
		熱流体工学	江上 泰広、北川 一敬、櫛田玄一郎、廣田 真史
機械システム工学	健康・安全・快適な生活スタイルを実現するための知能を備えた高度な機械システムの製造技術の開発、また機械を高精度で効率よく製造するための要素技術とシステム化技術の統合的発展が強く要請されている。この講座では、ロボット、センサ、アクチュエータ、バイオメカニクス、バーチャルリアリティ、設計法、CAD/CAM/CAE、機械要素、振動解析、音響解析、自動車工学、航空宇宙工学などの研究と教育を行う。	知的制御システム工学	内田 敬久、奥川 雅之、香川 高弘、日比野良一、山田 章
		機械システム工学	神谷 恵輔、西島 義明、原田 祐志
社会開発工学	我が国の自然環境にマッチした国土開発を主眼とし、従来の国土開発に対し反省を加えて21世紀にふさわしい持続可能な社会開発を行うための計画、各種構造物の静的・動的設計法、防災対策および生態・陸水に関する理論と技術の専門的教育・研究をする。	土木構造・材料学	岩月 栄治、鈴木 森晶
		地圏環境・計画学	横田 崇、中村 吉男、小池 則満、山本 義幸、倉橋 奨、渡邊 康司、川口 暢子
		水圏環境・生態学	内田 臣一、城戸 由能、赤堀 良介
都市建築工学	文化環境の造形と地域の様相を踏まえた総合的な生活空間施設の計画・整備。各種施設の安全性・経済性を考慮した静的および動的設計のための技術ならびに新たな社会的要求に対応した生活・生産のための環境、材料の開発・保全管理の技術の研究教育をする。	建築設計・計画工学 建築構造工学 建築環境・設備工学 建築材料工学	曾我部博之、瀬古 繁喜、薩川 恵一、宮本 好信、中井 孝幸、野澤 英希、武田 美恵、河路 友也、佐野 泰之、山本 貴正、鈴木 敏志、野々垣 篤、益尾 孝祐、細淵 勇人、巽 信彦、宮崎 崇文

(2) 科目一覧

	科目コード	科目名	単位数		開講期	備考
			必修	選択		
専攻共通演習	Q8205	機械工学演習		2	1年次	
	Q8206	機械システム工学演習		2	1年次	
	Q8203	社会開発工学演習		2	1年次	
	Q8204	都市建築工学演習		2	1年次	
		計		0	8	修了要件2単位以上
特別研究		機械工学特別研究			1～3年次	
		機械システム工学特別研究			1～3年次	
		社会開発工学特別研究			1～3年次	
		都市建築工学特別研究			1～3年次	

(3) 履修方法

- ・専攻共通演習及び特別研究は、所属する大講座の科目を修得してください。
- ・特別研究は、3年間継続して、研究指導を受けるものとします。

(4) 修了要件

- ・博士後期課程に3年以上在学していること。
- ・所定の単位を修得していること。
- ・必要な研究指導を受けていること。
- ・博士論文の審査及び試験に合格していること。
- ・博士後期課程の在学期間に関しては、大学院において優れた業績をあげたと認められた者については、当該課程に1年以上在学すれば足るものとします。（愛知工業大学大学院学則第26条第1項ただし書の規定による在学期間をもって博士前期課程を修了した者については、「当該課程に1年以上」とあるのを「大学院に3年（博士前期課程における在学期間を含む。）」と読み替えるものとします。）

【所定の単位】

専攻共通演習	2単位 以上
--------	--------